

まち・ひと・しごと創生総合戦略で取り組む事業の進捗状況等について

令和元年8月8日

【数値目標、重要業績評価指標(KPI)について】

この資料では、数値目標および重要業績評価指標(KPI)について、総合戦略を策定した時点で把握していた、「平成26年度末」の数値を「基準値(H26年度末)」、総合戦略の計画期間が終了する令和元年度末の数値を「目標値(R1年度末)」、今回ご審議いただく数値を「現状値(H30年度末)」と表記しています。

なお、総合戦略の冊子では、策定時である「平成26年度末」の数値を「現状値」と表記しています。(総合戦略 p63参照)

【達成率について】

平成30年度末時点での数値目標および重要業績評価指標(KPI)の進み具合の目安として、「達成率」を掲載してあります。

① 平成26年度末時点の数値を把握している指標の達成率

式1: (現状値－基準値) / (目標値－基準値) = 達成率

例1: 特定不妊治療費補助件数

(現状値224件－基準値201件) / (目標値270件－基準値201件) = 達成率33.3%

基準値 H26末	現状値 H30末	目標値 R1末	達成率
201件	224件	270件	33.3%

② 新規事業など、平成26年度末時点では、数値の把握をしていない指標の達成率

式2: 実績値 / 目標値 = 達成率

例2: 小規模保育事業所数(累計)

現状値6か所 / 目標値7か所 = 達成率85.7%

基準値 H26末	現状値 H30末	目標値 R1末	達成率
—	6か所	7か所	85.7%

※平成28年度事業開始

③ 達成率の表記について

①、②により達成率を算出し、結果を表記していますが、達成率を算出した結果、数値がマイナスになるもの(現状値が基準値を下回っているもの)は「—」、達成率が100%以上のもの(現状値が目標値を上回っているもの)は「達成」と表記しています。

【進捗度合について】

数値目標および重要業績評価指標(KPI)の進み具合を次の4つに分類し、「進捗度合」として掲載してあります。

- A: 目標に向けて、順調に進捗している(達成率が「達成」または、「75%」以上)
- B: 基準値より改善している(達成率が「50%」以上「75%」未満、または過去に「達成」したことがある)
- C: 現時点では、目標に向けた政策効果が必ずしも十分に発現していない(達成率が「-」または「50%」未満)
- D: その他(現時点で実績値の把握が不可能なもの等)

【数値目標指標】

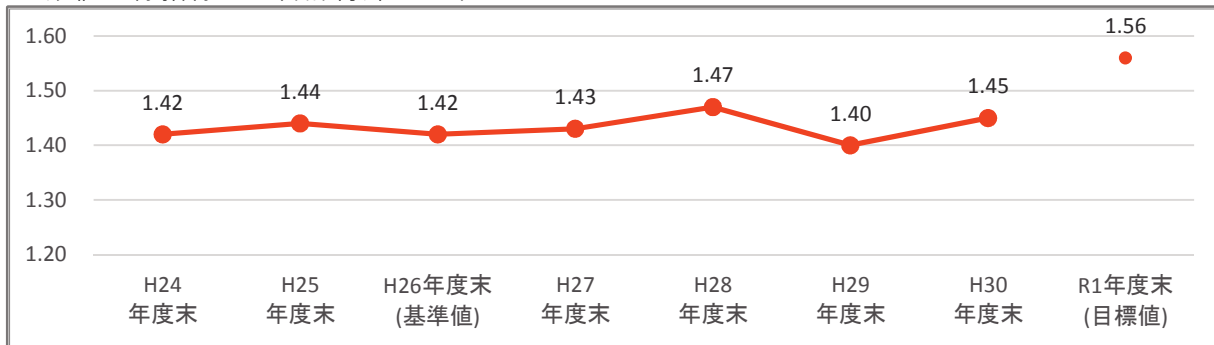
目標	進捗度合
基本目標1:「若い世代の希望をかなえ、充実した子育て環境と子どもが健やかに学べるまち」をつくる	C
基本目標2:「都会の利便性と田舎ののどかさが織りなす、暮らしたくなるまち」をつくる	A
基本目標3:「一宮らしさをアピールし、ひとが集まる魅力あるまち」をつくる	B
基本目標4:「企業誘致や既存産業の活性化により新たなしごとを創り、働く力を育むまち」をつくる	A
基本目標5:「安心して快適に暮らせるまち」をつくる	A

【KPI】

目標	件数	進捗度合			
		A	B	C	D
基本目標1	11件	9件 (82%)	0件 (0%)	2件 (18%)	0件 (0%)
基本目標2	7件	1件 (14%)	0件 (0%)	5件 (72%)	1件 (14%)
基本目標3	8件	3件 (38%)	1件 (12%)	3件 (38%)	1件 (12%)
基本目標4	8件	5件 (63%)	2件 (25%)	1件 (13%)	0件 (0%)
基本目標5	4件	2件 (50%)	1件 (25%)	1件 (25%)	0件 (0%)

基本目標 1 : 「若い世代の希望をかなえ、充実した子育て環境と子どもが健やかに学べるまち」をつくる

◆数値目標指標 合計特殊出生率

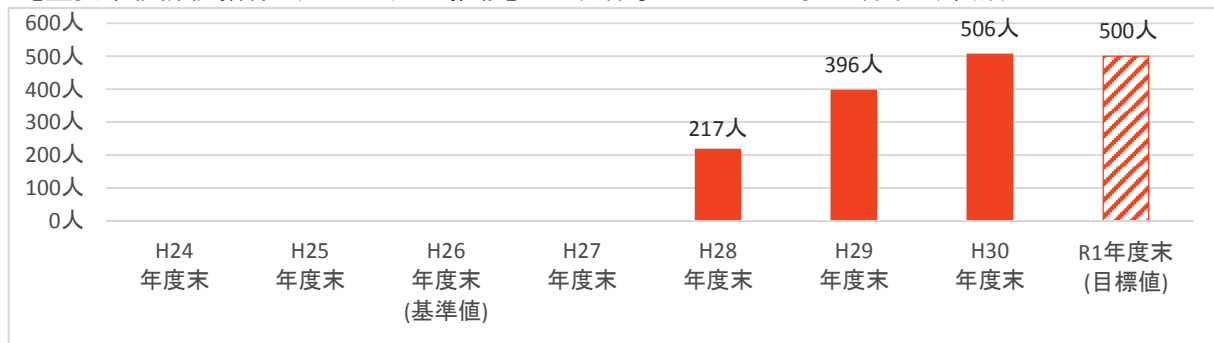


基準値 H26末	現状値 H30末	目標値 R1末	達成率	進捗度合
1.42	1.45	1.56	21.4%	C

① 気軽に参加できる出会いの場の提供

具体的な事業	事業概要および平成30年度末までの進捗状況	担当課
恋づくり出会い支援事業	異性の出会いや交流の機会を求める若い世代に出会いの場を提供し、交際や結婚へのきっかけづくりを行う。交流が円滑に進むよう参加者に対しセミナーを開催する。 プロポーザル方式によって選定された業者に事業を委託して、30年度は年5回の婚活イベントを開催し、男性55人、女性55人が参加し、16組のカップルが成立した。	青少年育成課

【重要業績評価指標 (KPI) の推移】 婚活等のイベント参加者数 (累計)



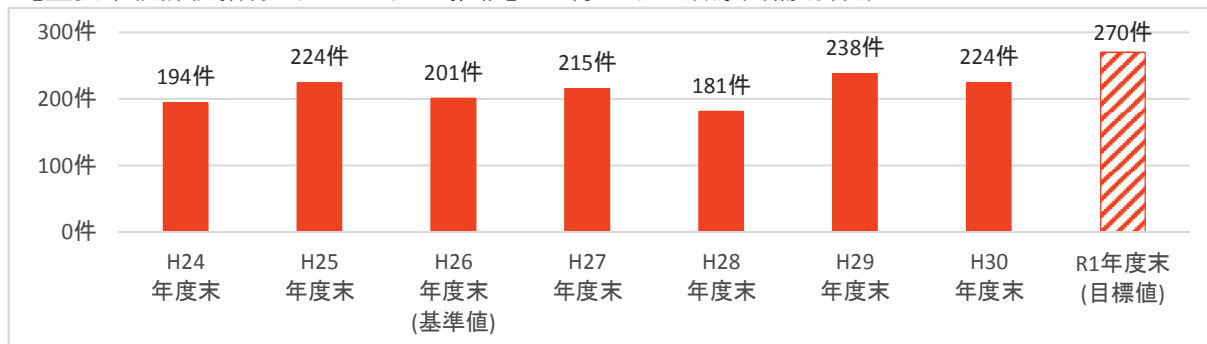
基準値 H26末	現状値 H30末	目標値 R1末	達成率	進捗度合
—	506人	500人	達成	A

※平成28年度事業開始

② 妊娠・出産・子育てに対する支援

具体的な事業	事業概要および平成30年度末までの進捗状況	担当課
特定不妊治療費補助の充実	特定不妊治療（体外受精、顕微授精治療）を行うには、自己負担が高額となるため、県の補助制度に上乘せする形で市単独補助を実施している。 28年度から、市単独補助の上限額を5万円から10万円に引き上げた。	健康づくり課
母子健康包括支援センターの設置 ※「子育て世代包括支援センター」を「母子健康包括支援センター」に変更	妊娠期から子育て期にわたるまで、切れ目なく継続支援することを目指す。 29年4月から妊娠届出および母子健康手帳・母と子のしおりの交付場所を中・西・北保健センターとし、すべての妊婦に保健師が面接して保健指導や情報提供を行っている。	
電子母子手帳の導入	子育て支援サイト再構築の中で、子どもの成長や予防接種の記録を行うことができる電子母子手帳機能を備えたスマホアプリを導入し、同時に市から子育て支援や母子保健に関する情報提供を行う。28年度末までにサイトをリニューアルし、スマホアプリをリリースした。 【30年度末アプリのダウンロード件数 4,451件】	子育て支援課 健康づくり課

【重要業績評価指標（KPI）の推移】 特定不妊治療費補助件数



基準値 H26末	現状値 H30末	目標値 R1末	達成率	進捗度合
201件	224件	270件	33.3%	C

【重要業績評価指標（KPI）の推移】 母子健康包括支援センター設置数



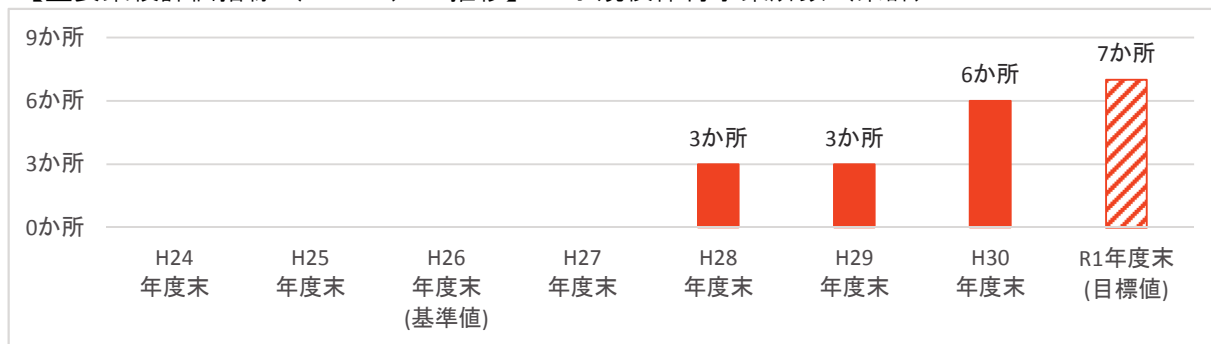
基準値 H26末	現状値 H30末	目標値 R1末	達成率	進捗度合
—	3か所	3か所	達成	A

※平成29年度事業開始

③ 安心して子どもを預けられる環境の整備

具体的な事業	事業概要および平成30年度末までの進捗状況	担当課
親同士の子育て援助活動支援の導入	ファミリー・サポート・センター事業において、相互援助関係を広げるため、親子でつながりのある母親が数人同時に登録する「グループ」登録制を29年度より導入した。 LINEを活用した運用とし、29年度にグループ登録用のタブレット端末の購入を行うとともに、ポスター・チラシ等による周知を行った。	子育て支援課
一宮駅周辺等に開設する小規模保育事業所への補助	一宮駅周辺等の保育ニーズの高い地域において、0～2歳児を保育する小規模保育事業所の開設を促進し、子どもを預けたい保護者の需要に応えるもの。30年度に開所した3事業所に補助を行った。	保育課
放課後児童クラブ・放課後子ども教室の総合的推進	放課後児童クラブと放課後子ども教室のそれぞれの役割を相互に補完しながら、放課後児童クラブの待機児童の解消を進める。 30年度に、令和元年度から放課後児童クラブの対象学年を小学1年から6年生までに拡大することを決定した。（これまでは小学1年から4年生までが対象）	子育て支援課
	一宮市子ども・子育て支援事業計画に基づき、放課後子ども教室を全小学校へ順次拡大していく。 30年度は既存教室22校と新設教室10校の計32校で実施した。	青少年育成課

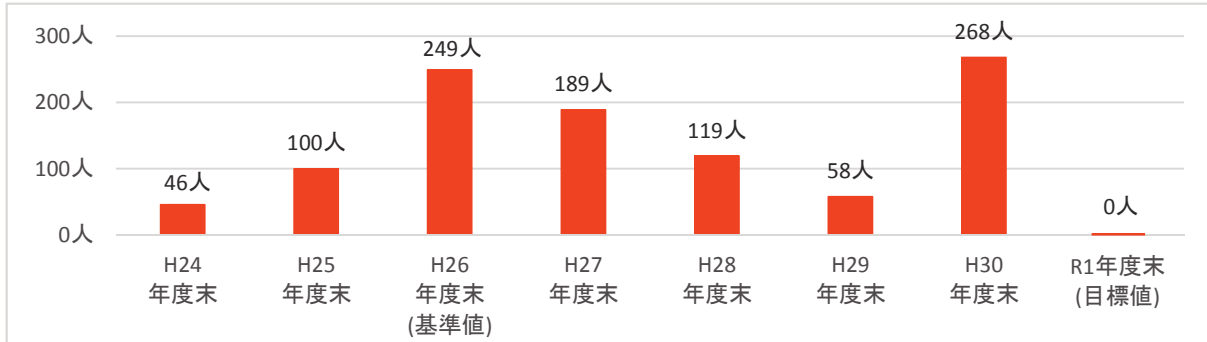
【重要業績評価指標（KPI）の推移】 小規模保育事業所数（累計）



基準値 H26末	現状値 H30末	目標値 R1末	達成率	進捗度合
—	6か所	7か所	85.7%	A

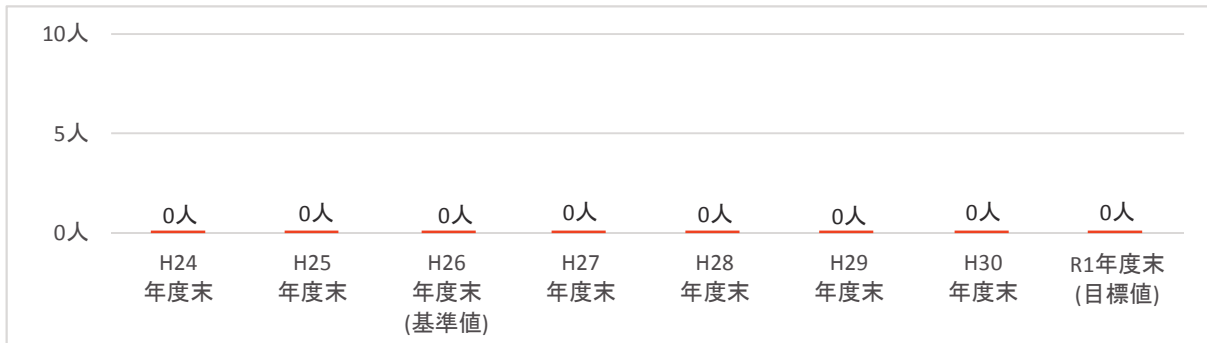
※平成28年度事業開始

【重要業績評価指標（KPI）の推移】 放課後児童クラブ待機児童数



基準値 H26末	現状値 H30末	目標値 R1末	達成率	進捗度合
249人	268人	0人	—	C

【重要業績評価指標（KPI）の推移】 保育所待機児童数



基準値 H26末	現状値 H30末	目標値 R1末	達成率	進捗度合
0人	0人	0人	達成	A

④ 経済的支援による子育て世代の負担軽減

具体的な事業	事業概要および平成30年度末までの進捗状況	担当課
小中学生の通院医療費を全額助成	子育て世代への経済的援助を目的として、小中学生に関わる医療費（保険診療分）の自己負担分を全額助成する。 28年4月受診分から、小中学生の通院医療費（保険診療分）に係る自己負担額2/3助成から全額助成へ拡大し、愛知県内の医療機関で利用できる「子ども医療費受給者証」を交付した。	保 険 年 金 課
多子世帯を対象に幼児保育料を軽減	愛知県の「第三子保育料無料化等事業」は対象が3歳未満児となっている。子どもが3人以上いる世帯の保育料を安くする仕組みを拡充し、多子世帯の保護者の負担軽減を図るため、28年9月から対象を3歳以上の幼児に拡大した。	保 育 課

【重要業績評価指標（KPI）の推移】 小中学生通院医療費の自己負担



基準値 H26末	現状値 H30末	目標値 R1末	達成率	進捗度合
1割負担	無料	無料	達成	A

⑤ 快適な学習環境の整備

具体的な事業	事業概要および平成30年度末までの進捗状況	担当課
小中学校普通教室空調設備整備事業	学校教育環境の向上を図るため、普通教室（特別支援教室を含む）等への空調設備の整備を行う。 中学校は、29年度に整備が完了、小学校は、30年度にPFI方式にて整備完了した。	教育文化 部 総務課
公共施設を活用した学習室の設置	公共施設の空き時間を利用して、テスト期間中の土・日曜日、祝休日に中学生および高校生を対象とした学習室を設け、快適な学習環境を提供する。 28年度から事業を開始し、30年度は本庁舎25日・木曽川庁舎27日間開設し、延べ3,056人の利用があった。	青少年育成課

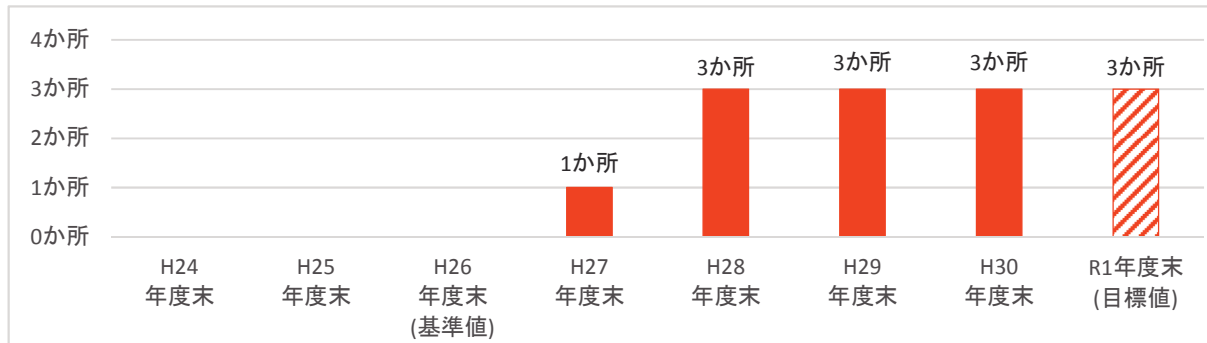
【重要業績評価指標（KPI）の推移】 小中学校普通教室空調設備設置率



基準値 H26末	現状値 H30末	目標値 R1末	達成率	進捗度合
—	100%	100%	達成	A

※平成29年度事業開始

【重要業績評価指標（KPI）の推移】 公共施設を活用した学習室の設置数



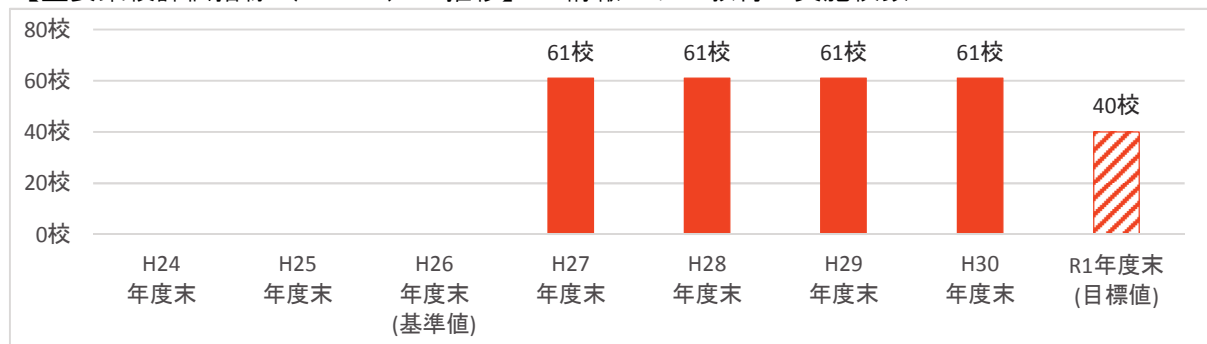
基準値 H26末	現状値 H30末	目標値 R1末	達成率	進捗度合
—	3か所	3か所	達成	A

※平成27年度事業開始

⑥ 創意工夫をした教育内容の実施

具体的な事業	事業概要および平成30年度末までの進捗状況	担当課
情報モラル教育の早期実施	<p>子どもたちに情報モラル教育を早期に実施することで、ネット利用のモラル、マナー、ルール、また、危機回避の方法やセキュリティの知識など、スマートフォンやタブレットなどの正しい利用方法を身に付けさせる。</p> <p>28年度に児童生徒・保護者の情報モラル向上のための啓発活動として、リーフレットを作成し、市内小学5年生～中学3年生に配付し、29年度からは毎年新5年生に配付している。</p> <p>また、30年度までに、小学校35校、中学校15校を「児童生徒・保護者の情報モラル向上のための啓発活動推進校」に指定し、各学級で情報モラル教育の授業を実施した。</p>	学校教育課
小中学校におけるプログラミング教育の実施	<p>早期の段階からプログラミング教育を行うことで、「ICTを活用する力」「論理的思考力」を養う。</p> <p>28年度に小学校2校、中学校1校を「プログラミング教育推進校」と指定した。28年6月にタブレットを各指定校に導入、教員を対象に授業支援ソフトやタブレットについて研修会を行った。</p> <p>また、29年度から、3年間、人型ロボット「Pepper」を使ったプログラミング教育を小学校15校、中学校12校で実施している。</p>	

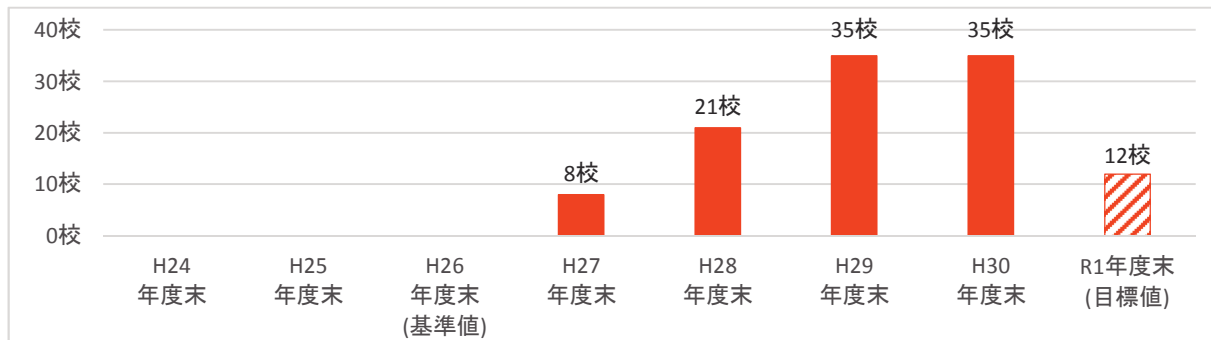
【重要業績評価指標（KPI）の推移】 情報モラル教育の実施校数



基準値 H26末	現状値 H30末	目標値 R1末	達成率	進捗度合
—	61校	40校	達成	A

※平成27年度事業開始

【重要業績評価指標（KPI）の推移】 プログラミング教育の実施校数

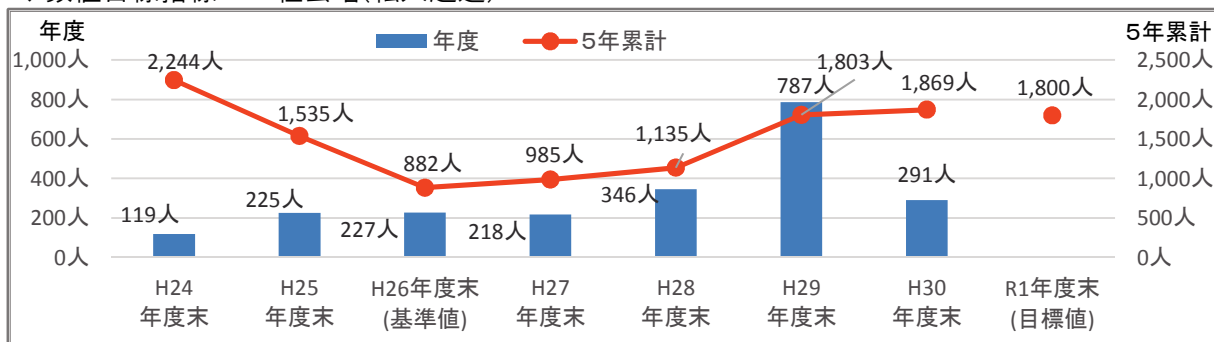


基準値 H26末	現状値 H30末	目標値 R1末	達成率	進捗度合
—	35校	12校	達成	A

※平成27年度事業開始

基本目標 2 : 「都会の利便性と田舎ののどかさが織りなす、暮らしたくなるまち」をつくる

◆数値目標指標 社会増(転入超過)



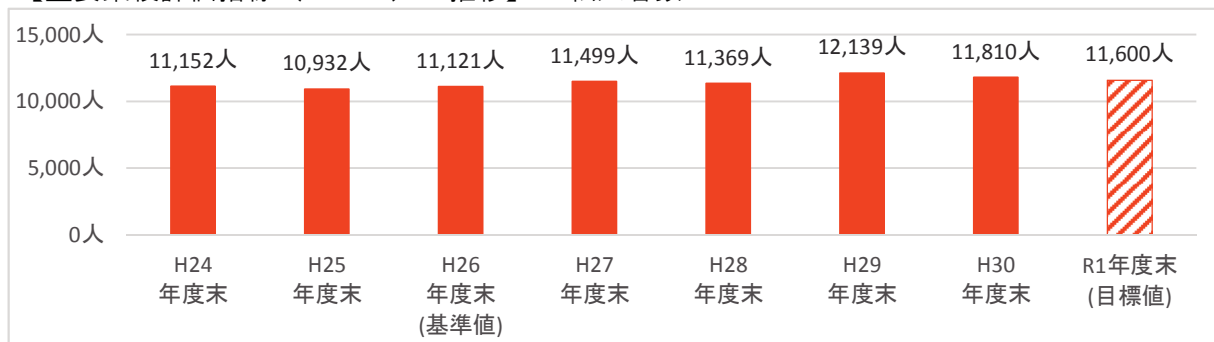
基準値 H26末	現状値 H30末	目標値 R1末	達成率	進捗度合
882人	1,869人	1,800人	達成	A

※5年累計値は、その年を含めた前5年間の社会増の合計値

① 市内への定住・移住の促進

具体的な事業	事業概要および平成30年度末までの進捗状況	担当課
市街化調整区域内地区計画による良質な住宅地の供給	都市計画マスタープランで位置づけられた鉄道駅周辺等において、市街化調整区域内地区計画制度を活用し、良質な住宅地を供給する。 29年4月に都市計画マスタープランを部分改定し、市独自の地区計画運用指針を策定した。 また、29年度より、次期都市計画マスタープランの策定に着手した。	都市計画課
利活用を含めた空き家等対策事業	空き家化の予防・発生の抑制・空き家等の利活用の促進等の空き家対策を総合的に推進するため、空き家等対策計画を29年3月に策定。老朽空き家の解体費の補助を行うとともに、空き家の利活用に向け、空き家バンクを開設した。 また、空き家等対策協議会で周辺に悪影響を及ぼす恐れのある空き家の審議を行い、特定空き家等と判断した14件に対し、順次行政上の措置を行った。	住宅政策課

【重要業績評価指標 (KPI) の推移】 転入者数

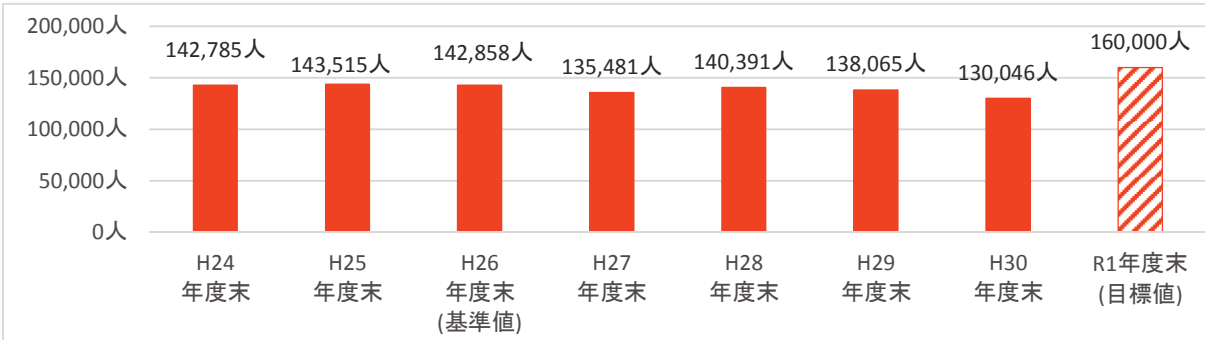


基準値 H26末	現状値 H30末	目標値 R1末	達成率	進捗度合
11,121人	11,810人	11,600人	達成	A

② 自然と親しめる木曾川沿川の整備

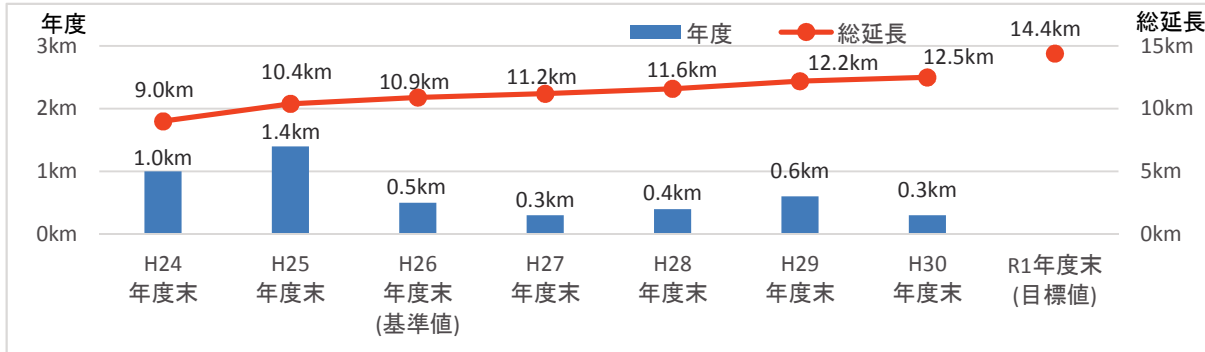
具体的な事業	事業概要および平成30年度末までの進捗状況	担当課
木曾川沿川の自然を活かした魅力づくり事業	大野極楽寺公園から138タワーパーク、光明寺公園、さらに木曾川に沿って長く続く河川敷の自然資源を活かし、遊歩道・自転車道の整備を推進するとともに、民間を活用したスポーツ・レクリエーション施設の整備や、ミズベリング138活動による市民・企業からのイベント誘致等を行う。 【30年度：木曾川河川敷公園の遊歩道・自転車道 整備総延長 L=12.5km】	公園緑地課

【重要業績評価指標（KPI）の推移】 ツインアーチ138入館者数



基準値 H26末	現状値 H30末	目標値 R1末	達成率	進捗度合
142,858人	130,046人	160,000人	—	C

【重要業績評価指標（KPI）の推移】 遊歩道・自転車道整備総延長

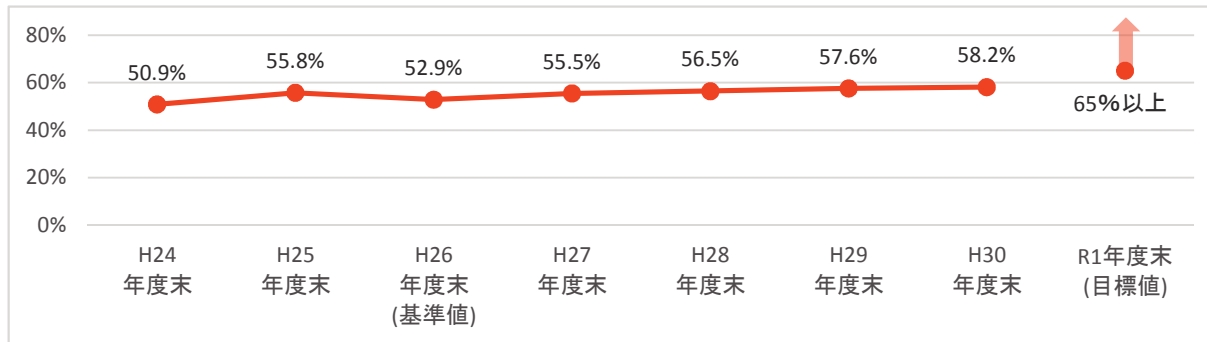


基準値 H26末	現状値 H30末	目標値 R1末	達成率	進捗度合
10.9km	12.5km	14.4km	45.7%	C

③ する・みる・ささえるスポーツの振興と健康づくり

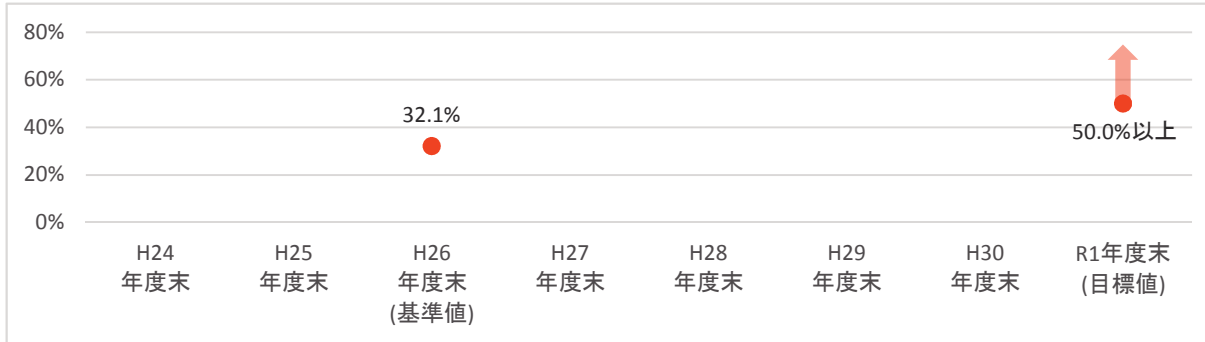
具体的な事業	事業概要および平成30年度末までの進捗状況	担当課
すこやか健康づくり公園整備事業	市内都市公園のストックを活用し、健康活動のためのネットワーク形成・拠点づくりのため、健康器具系施設の設置や、緑道等と公園を結ぶ健康づくりネットワークの整備を行う。また、地元愛護団体や町内会等参加の健康教室などの開催により、地域コミュニティの場として公園を活用して健康体力づくりを図る。 【30年度：健康器具 20基（彦田園など4公園と一宮市テニスコート、尾西運動場）】	公園緑地課
ダンスを活用した街づくり事業	30年度に市と(株)ダンスアースとの間で「ダンス教育等に関する連携協定」を締結し、教職員や一般指導者を対象とした「ダンス指導者講習会」を開催した。 また、一宮七夕まつりでのTANABATAダンスコンテストを開催した。	スポーツ課 (商工観光課)
ゆたかな自然を回る 自転車ロードレースの開催	木曾川沿川の公園等で自転車ロードレースの大会を開催する。29年度に市内で初となる「東海シクロクロス（第5戦）」が大野極楽寺公園で開催され、30年度にも開催された。	スポーツ課 (公園緑地課)
世界的スポーツイベントに関連する事業の誘致	市民のスポーツへの関心を高め、地域の活性化を図るため、ラグビーワールドカップ、フットサルワールドカップ、東京オリンピック等の世界的スポーツイベント関連事業を誘致する。 東京オリ・パラは、事前キャンプ誘致の「意思表明書」を組織委員会へ提出し、誘致活動を行った。 ラグビーワールドカップは、組織委員会の公認チーム（ニュージーランド代表、南アフリカ代表）のキャンプ地に選定され、受入準備をするとともに、地域交流の実施に向け検討した。	スポーツ課 (商工観光課)
ウォーキングマップの作成	一宮市健康づくりサポーター協議会の協力で28年度に一宮市ウォーキングマップを20,000部作成した。市内の名所旧跡等を散策できる31のウォーキングコースを掲載しており、3保健センターで配布している。	健康づくり課
生活習慣病予防事業	生活習慣病の予防効果を高め、被保険者等の健康の保持増進を図るため、28年5月から健康診査の検査項目に尿酸とアルブミンを追加した。	健康づくり課 保険年金課

【重要業績評価指標（KPI）の推移】 健康維持に取り組んでいる人の割合



基準値 H26末	現状値 H30末	目標値 R1末	達成率	進捗度合
52.9%	58.2%	65%以上	43.8%	C

【重要業績評価指標（KPI）の推移】 成人の週1回以上のスポーツ実施率



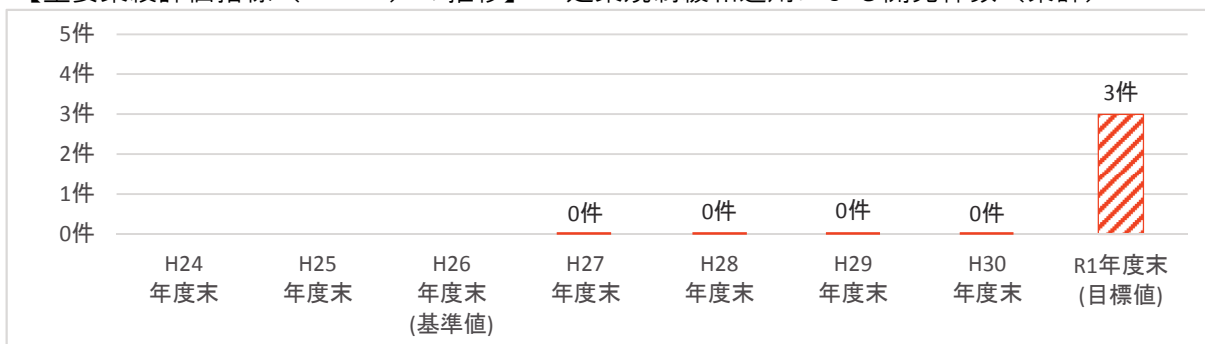
基準値 H26末	現状値 H30末	目標値 R1末	達成率	進捗度合
32.1%	—	50%以上	※	D

※5年に1度調査を実施しているため、次回調査はR1年度

④ にぎわいを創出する中心市街地の活性化

具体的な事業	事業概要および平成30年度末までの進捗状況	担当課
一宮駅周辺の土地の高度利用によるにぎわいの創出	<p>高層建築物を建設できるように土地の高度利用を図るため、容積率の都市計画変更や再開発等促進区、高度利用型地区計画、総合設計などのまちづくり手法を総合的に活用し、商業業務施設の立地、都心居住の促進、まちのにぎわいの創出を推進する。</p> <p>一宮市建築基準法施行細則の一部改正が28年6月1日に施行され、総合設計制度における商業地域の敷地面積最低限度を1,000㎡から500㎡に緩和した。また、29年4月に都市計画マスタープランの部分改定を行い、30年10月に一宮駅周辺の高度利用を図るため、容積率の都市計画変更を行った。</p>	都市計画課 建築指導課

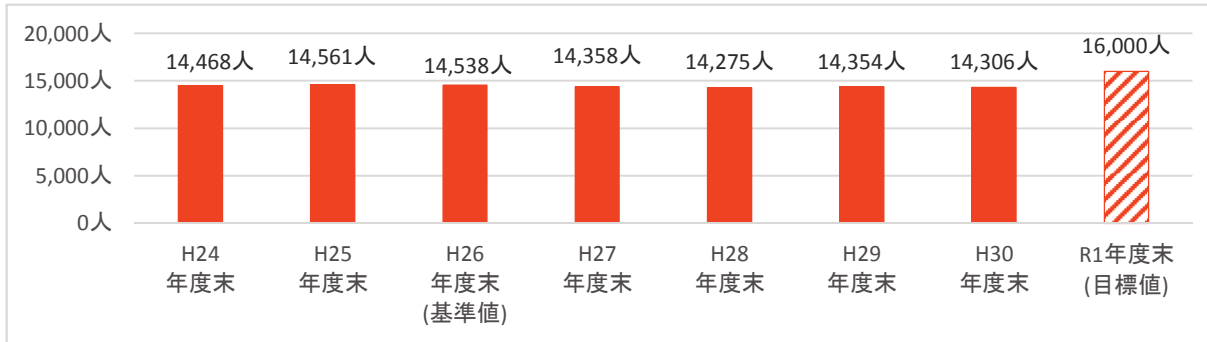
【重要業績評価指標（KPI）の推移】 建築規制緩和適用による開発件数（累計）



基準値 H26末	現状値 H30末	目標値 R1末	達成率	進捗度合
—	0件	3件	0%	C

※平成27年度事業開始

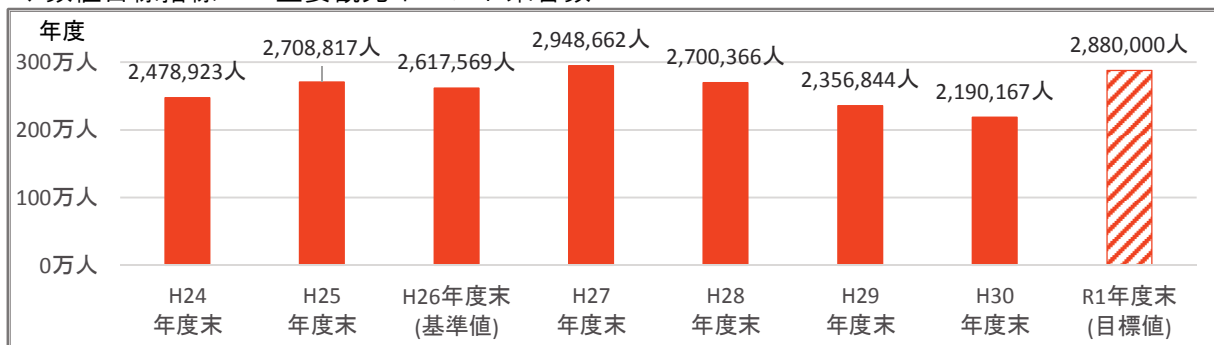
【重要業績評価指標（KPI）の推移】 中心市街地の人口



基準値 H26末	現状値 H30末	目標値 R1末	達成率	進捗度合
14,538人	14,306人	16,000人	—	C

基本目標3：「一宮らしさをアピールし、ひとが集まる魅力あるまち」をつくる

◆数値目標指標 主要観光イベント来客数

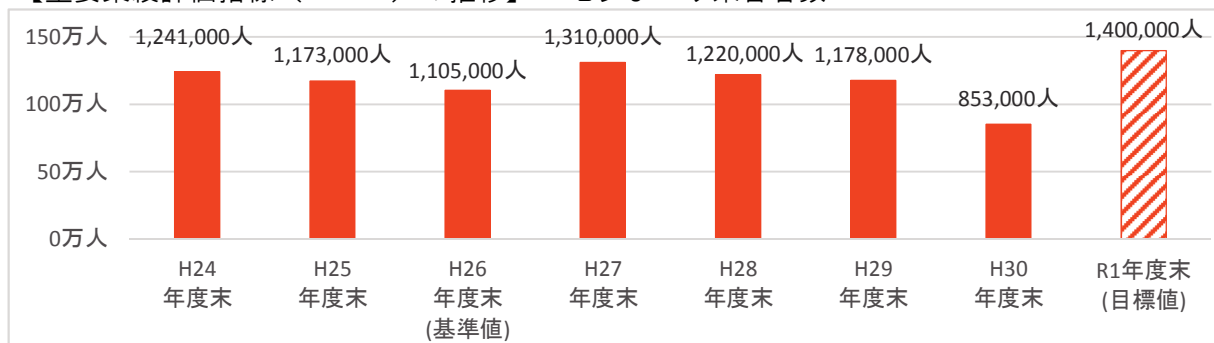


基準値 H26末	現状値 H30末	目標値 R1末	達成率	進捗度合
2,617,569人	2,190,167人	2,880,000人	—	B

① 魅力ある集客イベントの開催

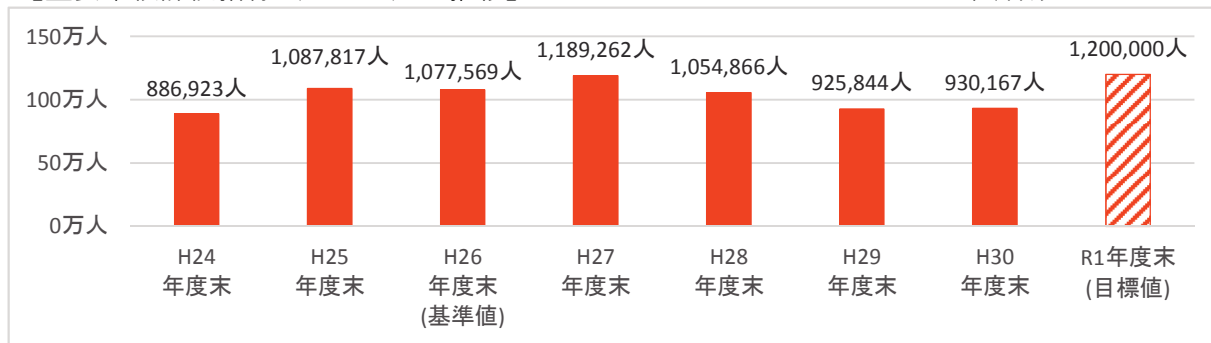
具体的な事業	事業概要および平成30年度末までの進捗状況	担当課
趣向を凝らした七夕まつりの開催	伝統的な部分は継承しつつ、毎年その時の流行等を考慮したテーマを設定し、それに沿った飾り付けやイベントを行う。 30年度は「いっぺんいりやせ！舞・踊・動」をテーマに、ダンスコンテストや、盆踊りの定番曲「ダンシングヒーロー」にちなんだ荻野目洋子ミニライブなどのイベントを実施した。	商工観光課
冬の七夕カーニバル・一宮イルミネーションの開催	一宮駅周辺に約20万球のイルミネーション装飾を行い、これに連動した「点灯式」「イルフェス2nd（イルミネーション作品の募集・展示）」などのイベントを実施した。 【開催時期：平成30年12月1日～平成31年2月14日】	

【重要業績評価指標（KPI）の推移】 七夕まつり来客者数



基準値 H26末	現状値 H30末	目標値 R1末	達成率	進捗度合
1,105,000人	853,000人	1,400,000人	—	C

【重要業績評価指標（KPI）の推移】 138タワーパークイベント入園者数

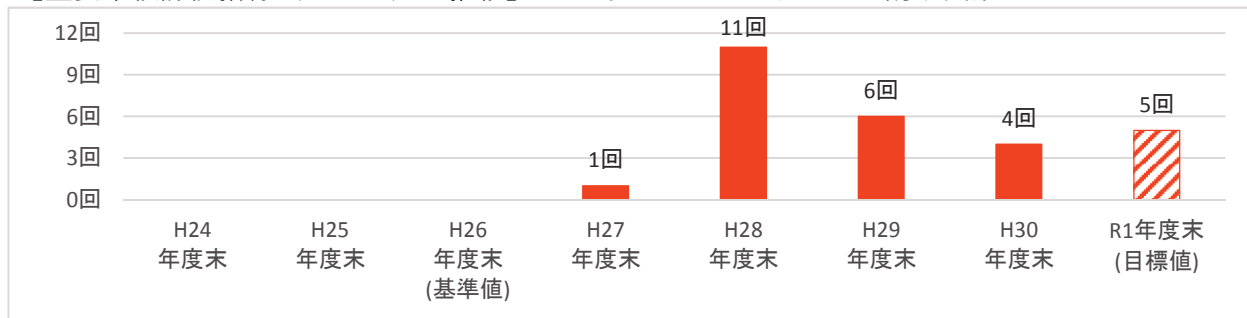


基準値 H26末	現状値 H30末	目標値 R1末	達成率	進捗度合
1,077,569人	930,167人	1,200,000人	—	C

② シティプロモーションの推進

具体的な事業	事業概要および平成30年度末までの進捗状況	担当課
フィルム・コミッション活動による知名度アップ	一宮市の知名度やイメージの向上を目指し、映画やテレビ撮影等のロケ誘致に取り組み、撮影に協力する。30年度は4作品の撮影協力を行った。	商工観光課
一宮市PR動画制作	一宮市をPRするための動画（ロング1種、ショート3種）を30年度に作成し、YouTubeや一宮七夕ビジョンで放映するとともに、名古屋・岐阜駅前大型ビジョンでも放映した。 また、PR動画の視聴を促すためのリーフレットを作成し、ハウジングセンター等にて配布するとともに、市ウェブサイト内に移住・定住希望者用のページを作成した。	政策課
一宮の美味しい水プロジェクト	木曽川の伏流水を使う一宮の水道を「おいしい水」「暮らしにやさしい水」「安心できる水」という点からPRし、「水のおいしい街 一宮市」というイメージを創り出す。ペットボトルに詰めたナチュラルウォーター「おりひめ」を製造・PRする。 28年7月1日から観光案内所ほかで販売し、一宮七夕まつり会場等でも出展販売した。また、市主催会議等の飲料としても活用した。 【30年度までに500mlサイズを72,697本販売】	営業課 (商工観光課)

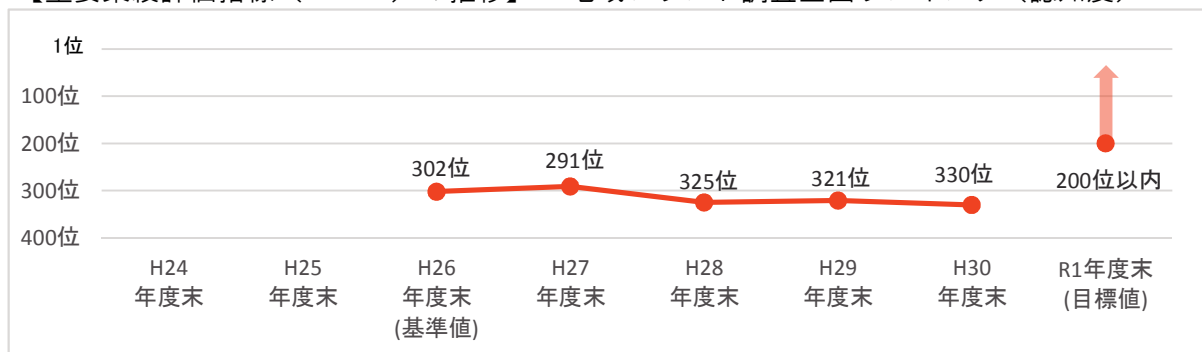
【重要業績評価指標（KPI）の推移】 フィルム・コミッション誘致回数



基準値 H26末	現状値 H30末	目標値 R1末	達成率	進捗度合
—	4回	5回	80.0%	A

※平成27年度事業開始

【重要業績評価指標（KPI）の推移】 地域ブランド調査全国ランキング（認知度）

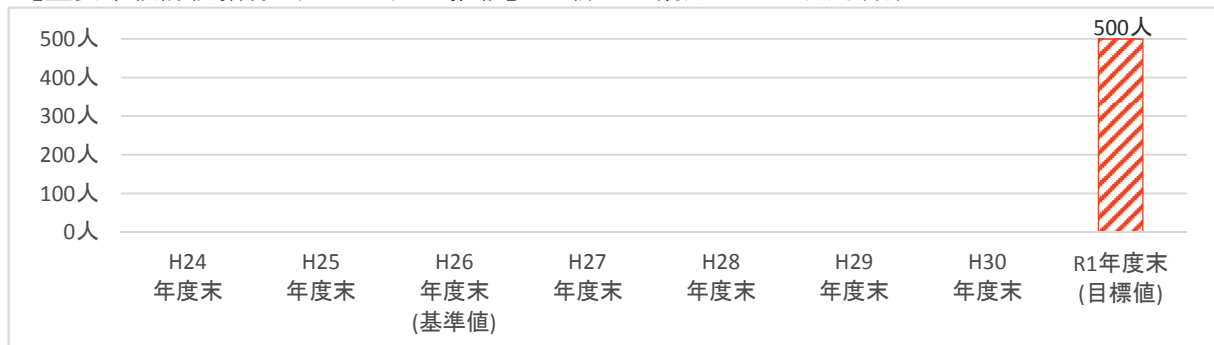


基準値 H26末	現状値 H30末	目標値 R1末	達成率	進捗度合
302位	330位	200位以内	—	C

③ 歴史や伝統、文化の新しい魅力発見のための新たな観光ツールの導入

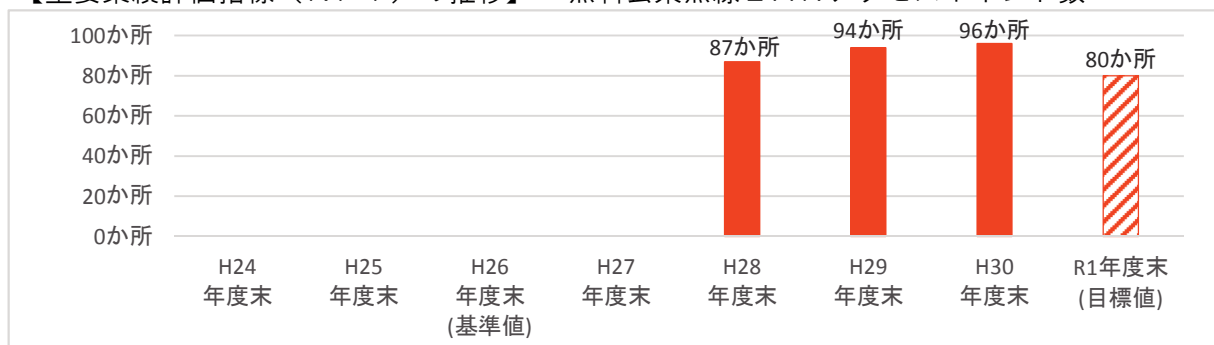
具体的な事業	事業概要および平成30年度末までの進捗状況	担当課
位置情報システムを利用した観光ツールの導入	スマートフォン等の携帯端末の位置情報システム（GPS）を利用し、市内各所を巡る観光ツール「Ingress（イングレス）」の活用を検討する。しかし28年度に発生した交通事故を受け、「ながらスマホ」の危険性が懸念されるため、事業中断の判断をした。	政 策 課
フリーWi-Fi（無料公衆無線LAN）サービスの拡大	庁内および各施設のフリーWi-Fi整備に続き、サービス提供箇所の追加を行うことにより、さらに整備を進め、市民や観光客などへの観光情報等の発信とともに、行政・防災情報等の発信も併せて行い、利便性の向上を図る。 【30年度末現在 市内51施設（アクセスポイント数96）でフリーWi-Fi整備を完了】	情報推進課 （商工観光課）

【重要業績評価指標（KPI）の推移】 新たな観光ツール利用者数



基準値 H26末	現状値 H30末	目標値 R1末	進捗度合
—	—	500人	D

【重要業績評価指標（KPI）の推移】 無料公衆無線LANアクセスポイント数



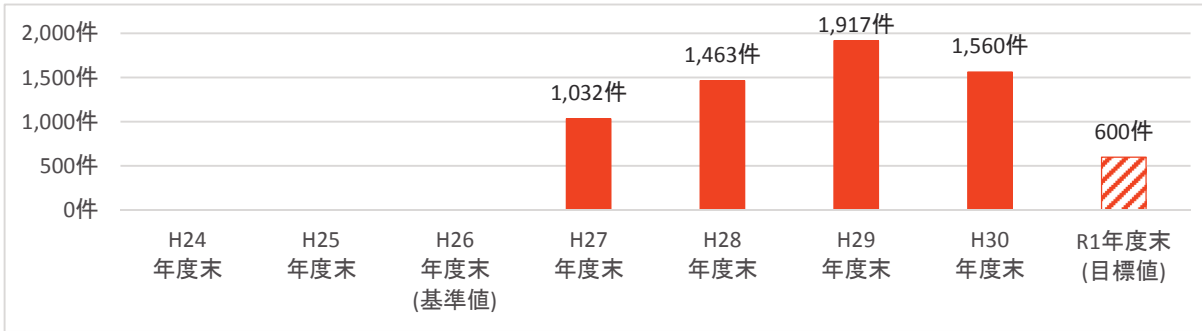
基準値 H26末	現状値 H30末	目標値 R1末	達成率	進捗度合
—	96か所	80か所	達成	A

※平成28年度事業開始

④ 一宮の名産品・特産品の育成とPR

具体的な事業	事業概要および平成30年度末までの進捗状況	担当課
「いちのみや物産展」の開催	市内で生産・製造された農産物、商品、製品を集めて、「いちのみや物産展」を開催し、販路拡大を支援する。【30年度は3回・延べ6日開催】 また、30年10月14日に一宮商工会議所等が開催した「第39回一宮総合食品フェア」の支援を行った。	商工観光課
いちのみや応援寄附に対する魅力ある特産品の提供およびウェブサイトを通じたクレジット納付	市と協賛企業が協力し、寄附者に地元特産品等を記念品として贈呈することにより、寄附の促進とともに市の魅力や地元特産品のPRを図る。また、ウェブサイトの申込フォームやクレジットカード納付を導入し、寄附の申込みの利便性を高める。 27年12月から記念品の贈呈を開始し、寄附件数、記念品を提供する協賛企業、品目ともに毎年増えていたが、30年10月の総務省からの記念品の新基準を受けて見直しを行ったため、30年度末時点の協賛企業は44社、記念品は99品目と前年度末とほぼ横ばいとなった。 【30年度：寄附実績 1,560件、49,334,680円】	行政課

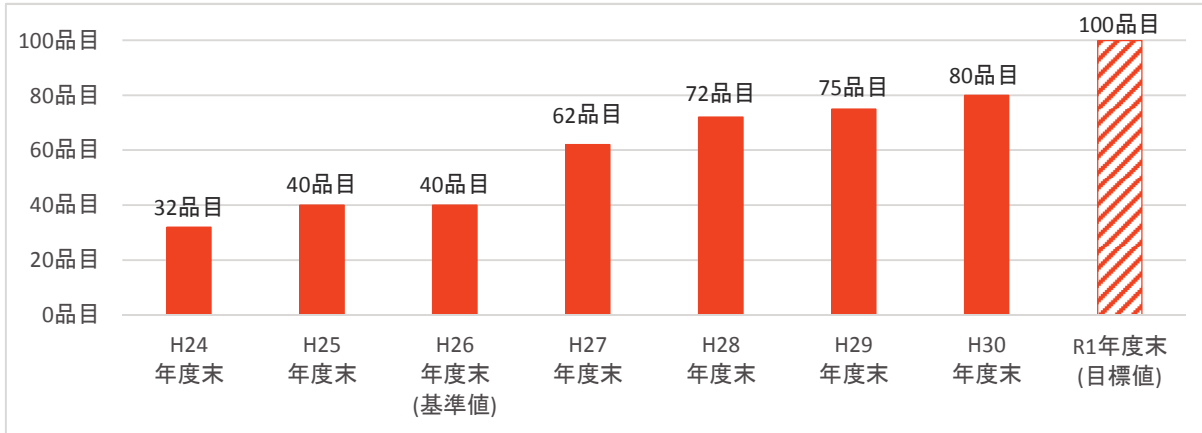
【重要業績評価指標（KPI）の推移】 いちのみや応援寄附金の寄付件数



基準値 H26末	現状値 H30末	目標値 R1末	達成率	進捗度合
—	1,560件	600件	達成	A

※平成27年度事業開始

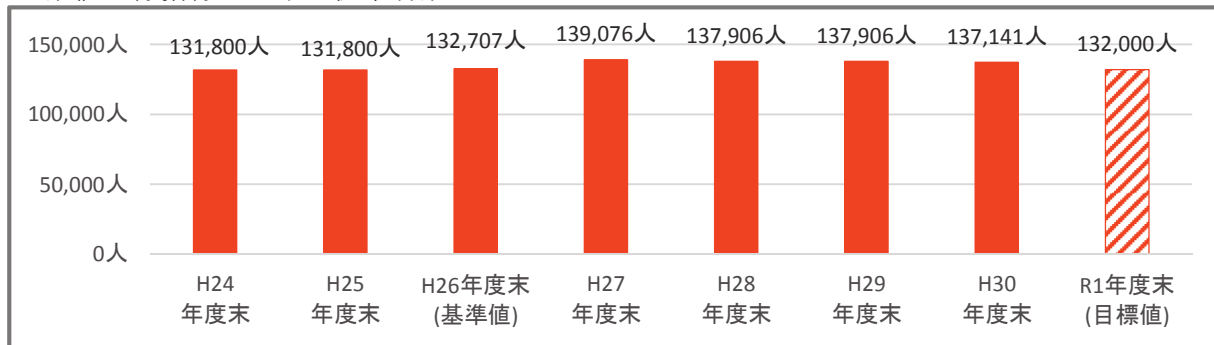
【重要業績評価指標（KPI）の推移】 いちのみや食ブランド認定商品数



基準値 H26末	現状値 H30末	目標値 R1末	達成率	進捗度合
40品目	80品目	100品目	66.7%	B

基本目標 4 : 「企業誘致や既存産業の活性化により新たなしごとを創り、働く力を育むまち」をつくる

◆数値目標指標 市内従業者数



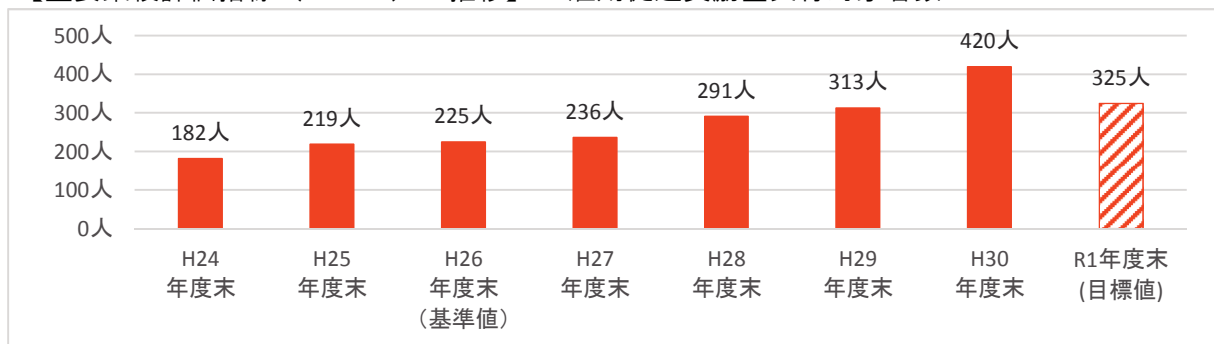
基準値 H26末	現状値 H30末	目標値 R1末	達成率	進捗度合
132,707人	137,141人	132,000人	達成	A

(*)H28・29の値は、H28年経済センサス（活動調査）の速報値。この後は、R1年に経済センサス（基礎調査）が実施される。

① 多様な手段による企業誘致の推進

具体的な事業	事業概要および平成30年度末までの進捗状況	担当課
産業拠点の企業立地支援事業	インターチェンジや既存工業地周辺の土地において、企業立地しやすい環境を構築するための優遇措置やインフラ整備等を行う。 企業立地関連道路（萩原多気線）測量設計業務委託を完了し、関係者との協議・調整を進めた。	道路課 (企業立地推進課)
農地転用許可の権限移譲に伴う柔軟な土地施策の展開	国から農地転用許可の権限移譲の指定を受けたことに伴い、地域の実情に応じた主体的な土地利用を図るとともに、申請から許可までの所要時間短縮が見込まれる。 権限移譲に伴う農地転用許可事務は、29年4月1日から開始した。	農業振興課

【重要業績評価指標（KPI）の推移】 雇用促進奨励金交付対象者数

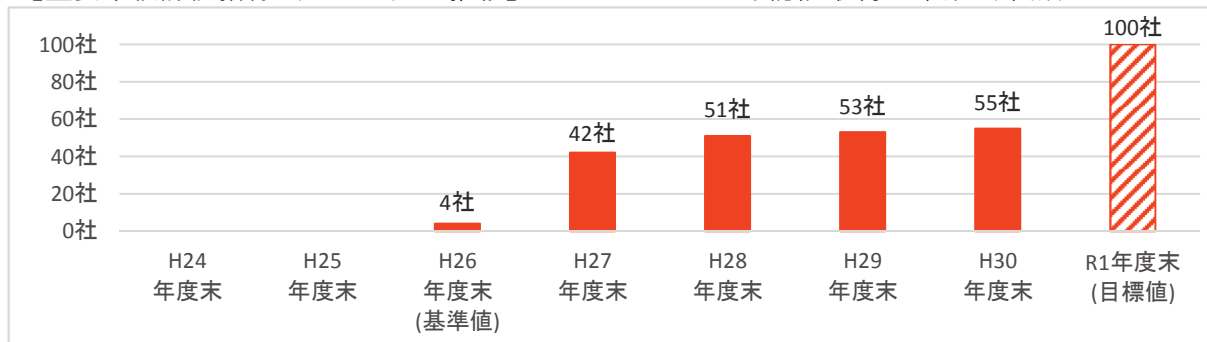


基準値 H26末	現状値 H30末	目標値 R1末	達成率	進捗度合
225人	420人	325人	達成	A

② 尾州テキスタイル産業の育成・ブランド化

具体的な事業	事業概要および平成30年度末までの進捗状況	担当課
尾州の匠 ものづくりリレー事業	尾州産地の技術の伝承と生産規模の確保を図るため、高齢化等のため廃業を考えている製織工場を、ものづくりしたい若者に無償で貸与し、設備の有効活用と長年培った製織技術の伝承を行う。 30年度は5月から学生を含めた参加者を公募し、6月から協力工場での実習を開始した。	商工観光課
産地ツアーによる尾州生地と有名アパレルブランドとのマッチング	世界有数のテキスタイル展（ミラノウニカ、インターテキスタイル上海）で大手アパレルとの関係強化を図り、尾州への関心を高めていく。トレンドに影響も受けやすいが、尾州のものづくりを直接訴求し、成約件数の増加を目指す。 また、ウェブサイト（ル・スーク）による販路開拓にも取り組み、世界中のバイヤーに向け、尾州のアピールを継続している。	
U・Jターンによる定住者獲得	名古屋圏に就職・転勤を検討する人を対象に、28年度に東京都および大阪府で開催された「ふるさと回帰フェア」へ出展し、仕事や住まいに関する情報を提供した。 また、30年度に、R1年度から開始する「移住促進支援事業」について愛知県と調整を行った。	商工観光課 （政策課）
地方創生発信型人材育成支援事業	一宮市の魅力を幅広く周知するとともに、本市の繊維関連事業における人材育成事業や支援制度の利用意義を浸透させる体制づくりを進め、各種支援制度の利用率向上および新たな人材育成事業の拡大を目指す。 文化学園大学服装学部の学生を対象に、尾州生地の製造工程見学を行い、生地を選定して衣装を制作するとともに、その過程を冊子とウェブサイトにもとめて、広く発信した。	商工観光課 （政策課）

【重要業績評価指標（KPI）の推移】 J・クオリティ認証取得企業数（累計）

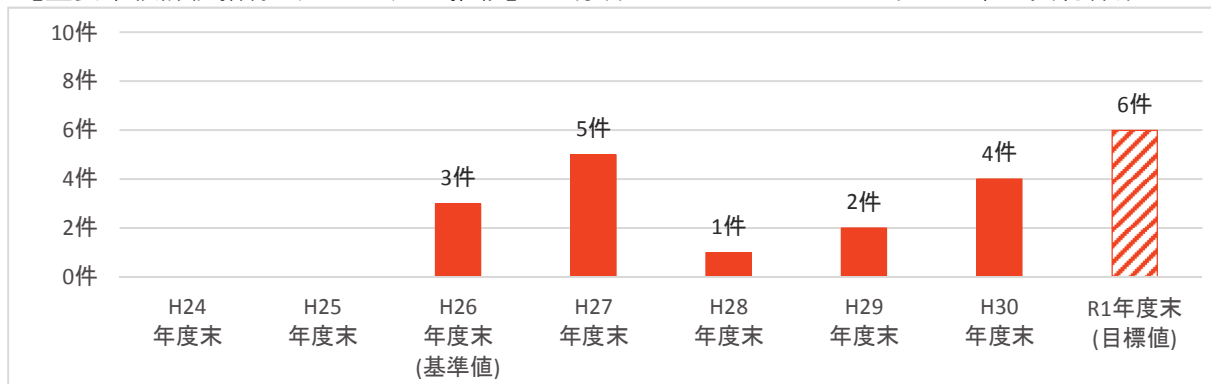


基準値 H26末	現状値 H30末	目標値 R1末	達成率	進捗度合
4社	55社	100社	53.1%	B

※平成26年度事業開始

※制度創設がH26年度のため、H24年度末・H25年度末は数値なし

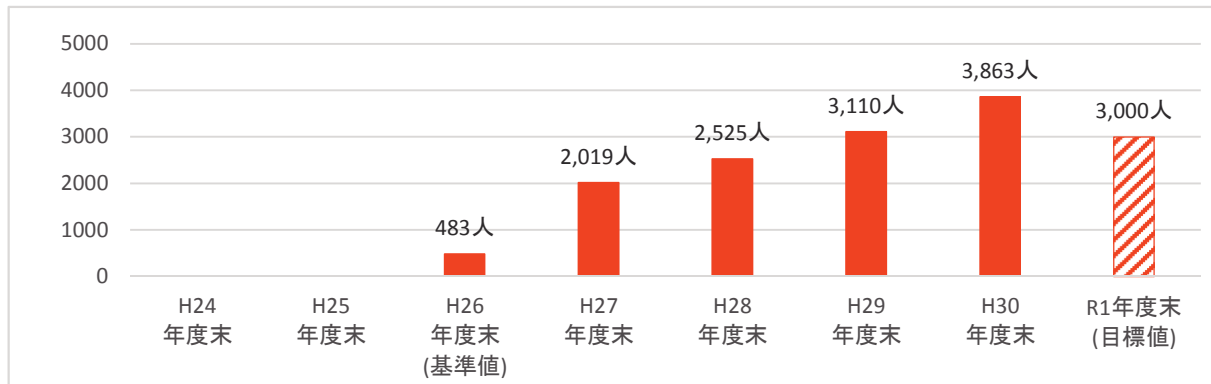
【重要業績評価指標（KPI）の推移】 有名アパレルブランドと市内企業の契約件数



基準値 H26末	現状値 H30末	目標値 R1末	達成率	進捗度合
3件	4件	6件	33.3%	C

※事業開始前のため、H24年度末・H25年度末は数値なし

【重要業績評価指標（KPI）の推移】 テキスタイル産業における人材育成事業受講者数（累計）



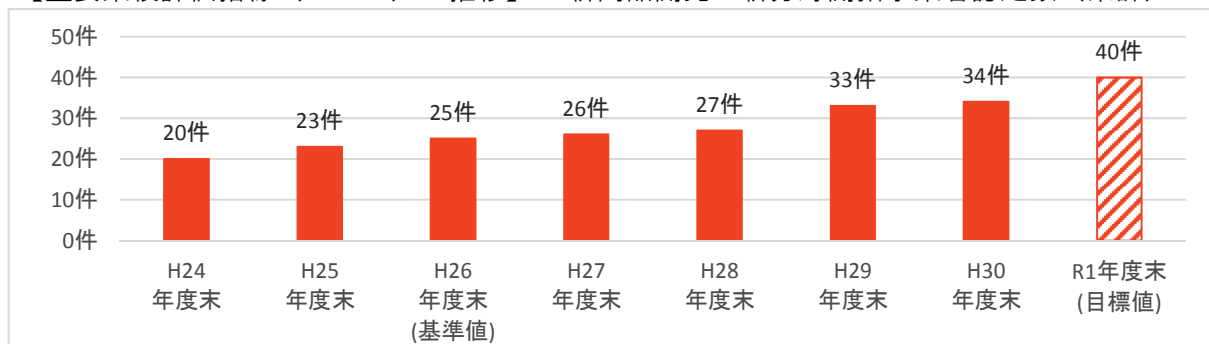
基準値 H26末	現状値 H30末	目標値 R1末	達成率	進捗度合
483人	3,863人	3,000人	達成	A

※26年度以降の延べ人数のため、24・25年度は除外

③ 既存産業の育成・支援

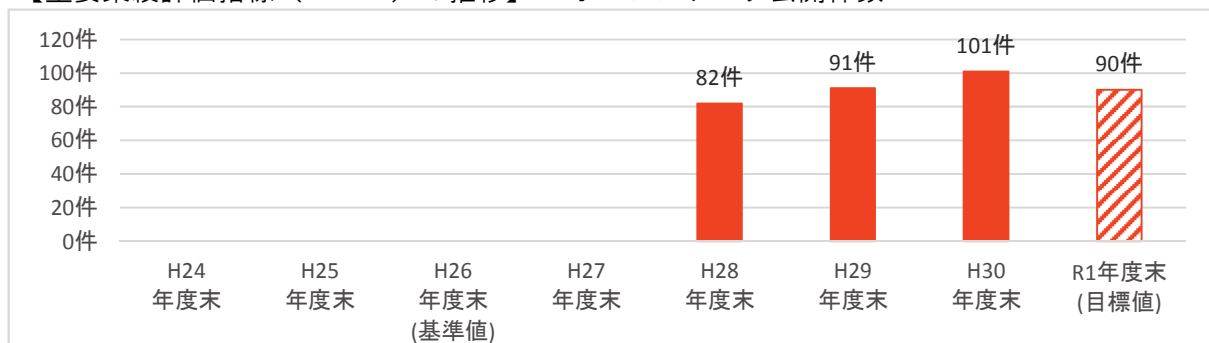
具体的な事業	事業概要および平成30年度末までの進捗状況	担当課
6次産業化・地産・地消推進事業 ※「一宮産農産物・農産加工品販売促進事業」を 「6次産業化・地産・地消推進事業」に変更	積極的にICT化を進めている農業者や6次産業化を進める農業者への支援を行うとともに、商工会議所を介し、農業者と商工業者のマッチングを行った。 また、地場農産物の消費拡大のため、4Hクラブを中心とした物産展への参加や、市内小中学校で行う「一宮を食べる学校給食の日」の実施（年3回）とともに、養蜂組合とゴディバによる福来蜜を使用したチョコレートの販売などのPRを行った。	農業振興課
民間で利活用できる オープンデータの公開	市が保有するオープンデータの積極的な公開を図るとともに、オープンデータの利活用を促進し、地域産業の活性化を図るため、29年12月に一宮市オープンデータカタログサイトを開設し、あいち電子自治体推進協議会のオープンデータカタログにも登録を済ませた。 【30年度末 公開件数101件】	情報推進課

【重要業績評価指標（KPI）の推移】 新商品開発・新分野開拓事業者認定数（累計）



基準値 H26末	現状値 H30末	目標値 R1末	達成率	進捗度合
25件	34件	40件	60.0%	B

【重要業績評価指標（KPI）の推移】 オープンデータ公開件数



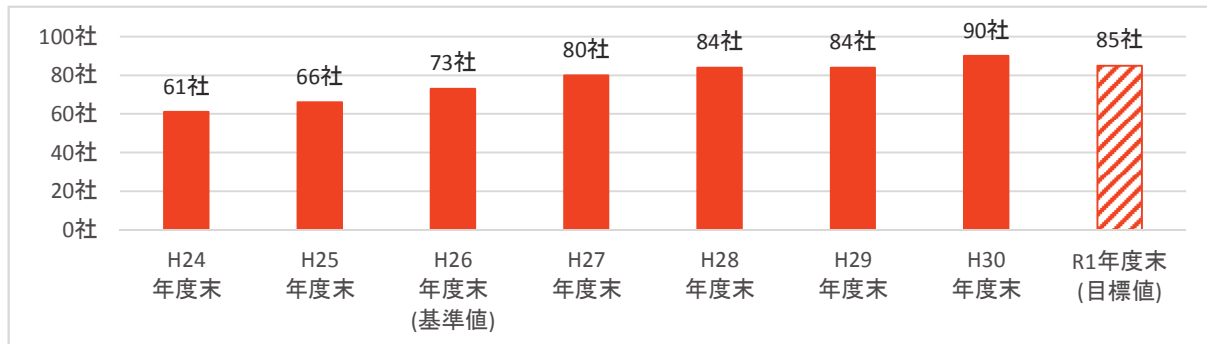
基準値 H26末	現状値 H30末	目標値 R1末	達成率	進捗度合
—	101件	90件	達成	A

※平成28年度事業開始

④ ワーク・ライフ・バランスの推進

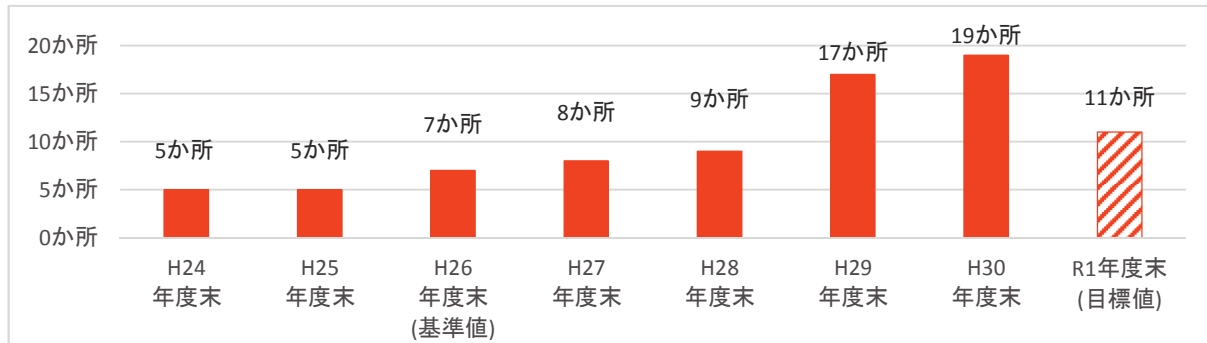
具体的な事業	事業概要および平成30年度末までの進捗状況	担当課
仕事と家庭の両立等に取り組む企業への支援	仕事と家庭の両立支援等の職場環境づくりなど、育児や介護に関する支援や新たな取組を積極的に行う事業所等の取組内容を広く紹介する。 また、企業が企画、実施するワーク・ライフ・バランス等の研修会に講師を無料で派遣する、事業所向け男女共同参画出前講座の申込を随時、受け付けている。	政 策 課
事業所内保育施設の整備に対する助成	国の要綱に基づく助成金を受けて事業所内に保育施設を整備した事業所に、市から上乗せ補助を行う。 28年度に補助金交付要綱を整備し、29年3月から募集を開始した。 【30年度補助件数：2件】	商 工 観 光 課 (保 育 課)

【重要業績評価指標（KPI）の推移】 仕事と家庭の両立に取り組む企業認定数



基準値 H26末	現状値 H30末	目標値 R1末	達成率	進捗度合
73社	90社	85社	達成	A

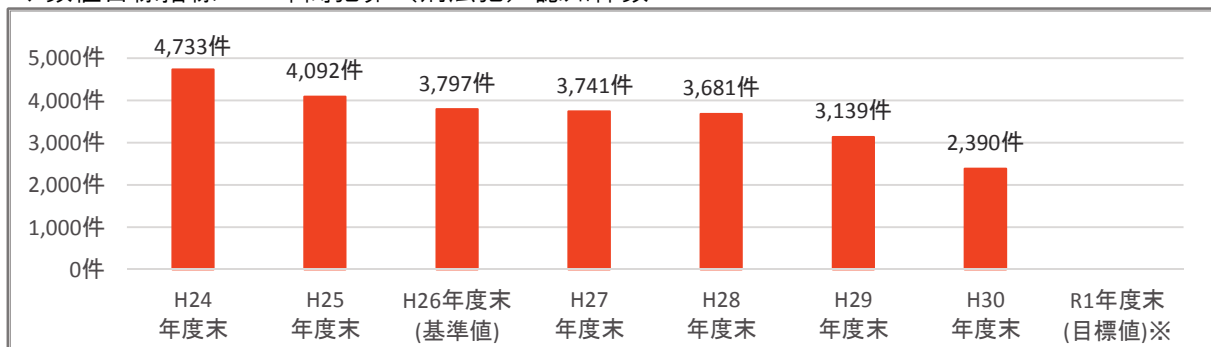
【重要業績評価指標（KPI）の推移】 事業所内保育実施事業所数



基準値 H26末	現状値 H30末	目標値 R1末	達成率	進捗度合
7か所	19か所	11か所	達成	A

基本目標5：「安心して快適に暮らせるまち」をつくる

◆数値目標指標 年間犯罪（刑法犯）認知件数



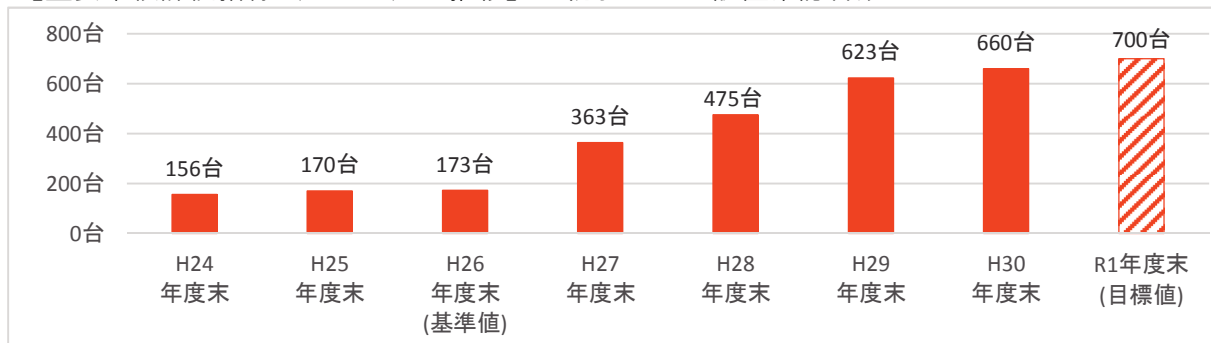
基準値 H26末	(参考値) H29末	現状値 H30末	達成率	進捗度合
3,797件	3,139件	2,390件	達成	A

※目標：毎年前年より減少

① 行政と地域が一体となった安全・安心なまちづくりの推進

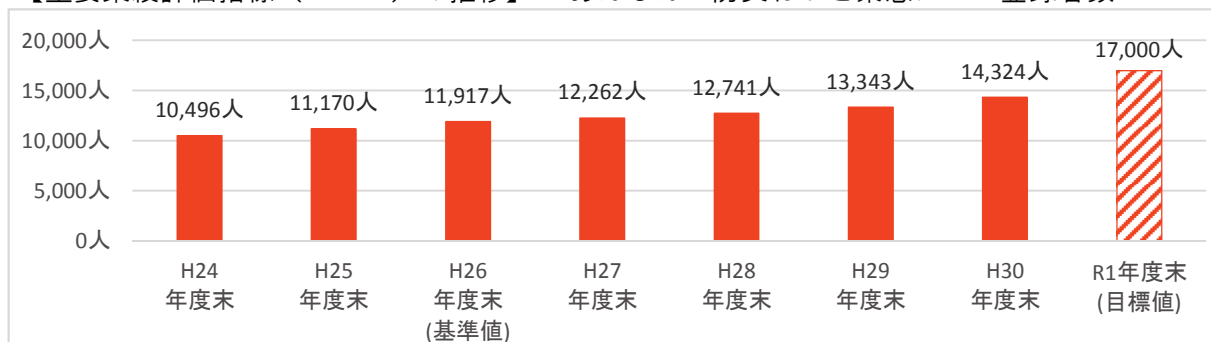
具体的な事業	事業概要および平成30年度末までの進捗状況	担当課
SNSを活用した防災・災害情報の発信・収集	防災・災害に関する情報の発信や被害状況等の情報収集にSNSを利用し、市民に向けて迅速に行った。 出前講座などを通じて啓発活動を行い、一宮市防災ツイッターのフォロワーを増やした。 【30年度：出前講座開催実績 61回、フォロワー 984人（31年3月末現在）】	危機管理課
災害情報共有システムを活用した災害情報の発信	防災・災害に関する情報の発信を、国が整備推進中の災害情報共有システム（Lアラート）を利用し、TV、ラジオ、携帯端末等の様々なメディアで市民に向けて迅速に行った。 災害情報共有システム（Lアラート）は、愛知県防災情報システムと連動しており、災害発生時に愛知県に災害情報を報告することで、市民に情報が伝達される。	
地域が設置した防犯カメラへの維持費補助事業	防犯カメラ維持費補助を行うことにより、設置者である町内会等の負担を軽減し防犯カメラの普及を図る。 【31年2月補助金交付：98団体 518台 932,400円】	市民協働課
市の施設等への防犯カメラ設置事業	市の施設等に防犯カメラを設置することにより、犯罪の防止を図る。設置箇所選定の際は、警察からのアドバイスを受け、効果的な設置を行う。 【30年度末設置状況：660台】	市民協働課

【重要業績評価指標（KPI）の推移】 防犯カメラ設置確認台数



基準値 H26末	現状値 H30末	目標値 R1末	達成率	進捗度合
173台	660台	700台	92.4%	A

【重要業績評価指標（KPI）の推移】 あんしん・防災ねっと緊急メール登録者数

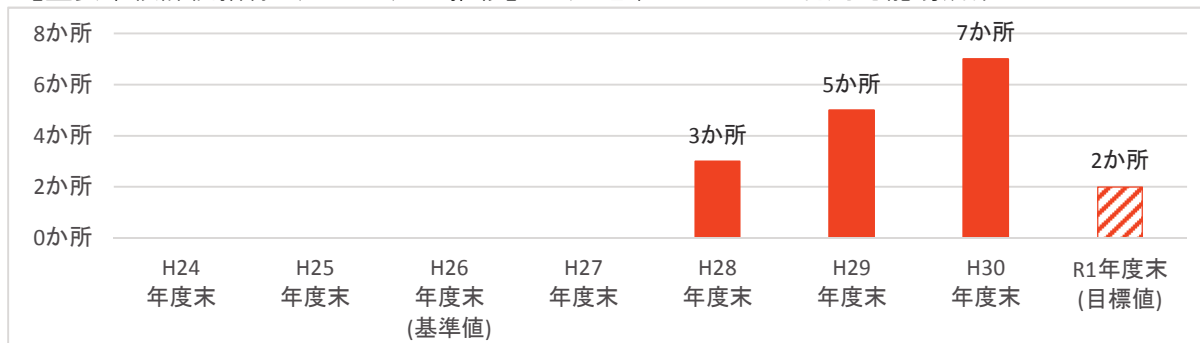


基準値 H26末	現状値 H30末	目標値 R1末	達成率	進捗度合
11,917人	14,324人	17,000人	47.4%	C

② 行政サービスの推進

具体的な事業	事業概要および平成30年度末までの進捗状況	担当課
交通系ICカード支払いの導入	市民課、中央子育て支援センター、一宮市観光案内所、一宮スポーツ文化センター、一宮市スケート場の5か所に加え、30年度にはエコハウス138と、ゆうゆうのやかたの2か所で、manaca等の交通系ICカードでの支払いができるようになった。	会計課ほか
インターネットを利用した税のクレジットカード納付の導入	インターネットを利用したクレジットカードで税を納付できるようにする。29年度にシステム改修を行い、30年度の当初課税分から導入した。	納税課 (会計課)
新たな期日前投票所の開設	若い世代を含めた多くの人々が往来する場所に、新たに期日前投票所を設置する。28年7月10日実施の参議院議員通常選挙から、尾張一宮駅前ビル（iービル）6階中央図書館多目的室1に期日前投票所を設置した。	行政課 (選挙管理委員会事務局)

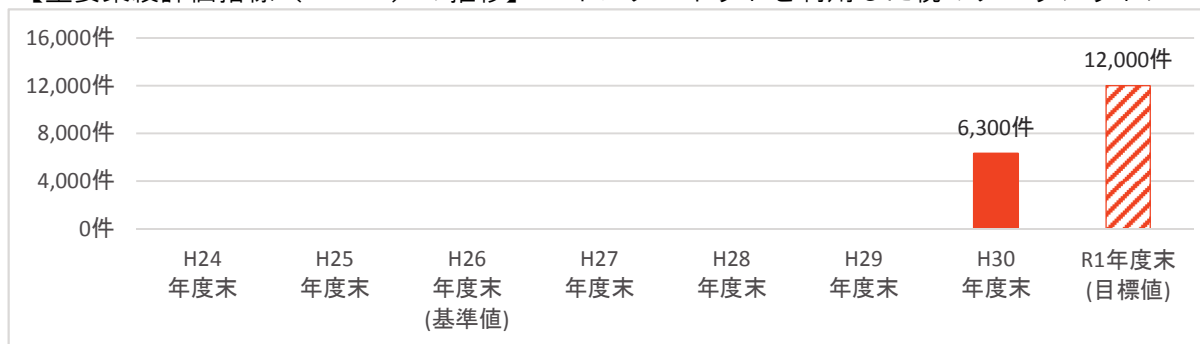
【重要業績評価指標（KPI）の推移】 交通系ICカード利用可能場所数



基準値 H26末	現状値 H30末	目標値 R1末	達成率	進捗度合
—	7か所	2か所	達成	A

※平成28年度事業開始

【重要業績評価指標（KPI）の推移】 インターネットを利用した税のクレジットカード納付件数



基準値 H26末	現状値 H30末	目標値 R1末	達成率	進捗度合
—	6,300件	12,000件	52.5%	B

※平成30年度事業開始

③ 新たな地域公共交通の検討

具体的な事業	事業概要および平成30年度末までの進捗状況	担当課
コミュニティタクシーの導入	駅、バス停留所にアクセスしづらい地域を対象に、予約制の乗合タクシーを導入する。28年7月から30年3月末まで試行運行を実施し、30年4月1日から停留所の増設や予約時間短縮などの利便性を向上させ、名称を「i-バスミニ」として、本格運行を開始した（運賃：1人1乗車100円）	交通政策課
相乗り自家用車特区申請の検討	特区が認定されると、一般の人が自家用車で有償送迎する「ライドシェア（相乗り）」が可能になるため、自家用車を活用したライドシェア（相乗り）特区の申請について検討する。	交通政策課
自動走行の公道実証実験の検討	30年度に、愛知県の自動運転の実証実験エリアに選定され、全国初「5G（第5世代移動通信システム）」を活用した公道での複数台の遠隔型自動運転の実証実験が行われた。また、これに関連し、30年12月2日にKDDI（株）と包括協定を締結し、同日に市民向けの5G・自動運転の周知イベントを共催した。	政策課

検討事項のためKPIの設定なし